





VELOREX は最終的に 20 周をこなしてニクラス・クルッテン選手がニュータイヤで 1 分 59 秒 046 をマーク。片山義章選手もユーズドタイヤで 1 分 59 秒 191 をマークし、予選への手応えを感じつつも、満足なセットアップを仕上げるまでには至らず、11 番手で公式練習を終えました。

午後3時30分、気温34℃、路面温度46℃、湿度58%というドライコンディションの中、予選 Q1-A グループに続き、予選Q1-B グループ予選がスタートしました。

ギリギリで予選 Q1 突破かと思われましたが、数台のマシンがタイムアップを果たしたために、片山義章選手は連続アタックを慣行。セクター1、セクター2、セクター3はすでにニュータイヤの美味しい部分を使い切っており自己ベストを更新できなかったものの、最後のセクター4で自己ベストを1秒4以上縮め、1分58秒397と自己ベストタイムを更新しましたが、9位のタイムに僅か0秒053届かず、予選10番手。残念ながら予選Q2進出はなりませんでした。





■片山義章選手のコメント

「朝の公式練習から特に大きなトラブルも無く、マシンのバランスは悪くはなかったのですが、セッションそのものが赤旗中断とかで、満足にアタックするタイミングがなかなか取れなくてセットアップを煮詰めきれなかった感が残りました。

それでも予選までにエンジニアがデータを解析し、セットアップを変更してくれたのがバッチリ決まっていて、予選で走り出すと、マシンのバランスは確実に良くなっていました。タイヤを温めアタックに出た4周目はセクター1, 2, 3とも良い走りが出来ていたのに、最後のシケインでリヤがロックして大きくスライドしてしまいました。マシンはなんとかコースに留まってくれたので、そのまま連続アタックに出ましたが、残念ながらタイヤの美味しい部分は終わっていました。タイムは更新できたものの、本当に悔しい結果です。

ベストタイムを繋ぎ合わせれば、予選2番手にはなれたはずですが。マシンのパフォーマンスは高いと思いますので、この悔しさをバネに、明日の決勝ではガンガンと追いつけて、今日の結果を挽回するような攻めた走りを見せたいと思っています」

VELOREX

PRESS RELEASE



■ニクラス・クルッテン選手のコメント

「朝の公式練習はひどいセッションでした。コース上にオイルが出ていたり、赤旗が2度も出されたりして満足に走れない状況でした。マシンはややアンダーステアが気になりましたが、バランスそのものは悪くなかったので、問題は無いと思います。

予選は残念な結果でしたが、決勝レースに対して自信はあります。マシンのポテンシャルは高いと思いますし、チームが一丸となって、片山義章選手と共に明日の決勝では激しい追い上げを見せたいと思っています。応援よろしくお願いします」



「予選は思いのほか悔しい結果になってしまいました。マシンのセットアップも順調で、ドライバーも乗っていたので、アタックラップのシケインでの失敗が痛いですね。ただ、なんとか4輪脱輪せずにこらえてくれたので、続けてアタックすることができました。とはいえタイヤの美味しい部分は使い切ってしまっていたのでセクター1, 2, 3は自己ベストを更新できず、それでもベストラップは更新できたので、ドライバーとしては本当に悔しかったと思います。

■本リリースに関するお問い合わせ:チームルマン広報部:info@teamlemans.co.jp